



質量は太陽の約20億倍!! 巨大ブラックホール発見

約127億光年離れた宇宙に
明るく輝く天体「クエーサー」
があるのを、宇宙航空研究開
発機構(JAXA)の後藤友嗣
研究員が発見。30日公表した。

クエーサーは、その中心に
あるブラックホールにガスが
落ち込む際に強い光を放って
いると考えられており、今回
の観測結果は巨大なブラック
ホールの存在を示している。
後藤研究員によると、これま
でに見つかったクエーサーの
中で11番目に遠い場所にあ
り、質量は太陽の約20億倍に
もなる。

して
る。
一
親
や
弟
と
暮
ら
し
て
い
る

地球からかに座の方向に約127億光年も離れた所にある超巨大ブラックホールに、周辺の物質が飲み込まれて周囲が光っている様子を、宇宙航空研究開発機構の後藤友嗣研究員がすばる望遠鏡（米ハワイ島）を使って観測した。

国立天文台が30日発表した。これまでに観測された超

巨大ブラックホールでは、世界で11番目に遠く、日本人研究者の発見では最も遠いという。この超巨大ブラックホールの質量は、太陽の約20億倍とみられる。宇宙が約137億年

前と推定されるビッグバンで誕生してからわずか10億年で、これほど大きいブラックホールが存在したことは、ブラックホールの形成過程を解明する手掛かりになる。

宇宙は、誕生時には電離状態だった

初期の超巨大ブラックホール

127億光年先で発見

だが、急速に膨張して冷え、約30万年後に原子核と電子が結合した。し

かしその後、超巨大ブラックホールなどが放射する紫外線の影響で再び電離状態になったと考えられており、観測成果は、この再電離の時期を探る上でも役立つという。



全に保存でき 4000万光年離れた場所
で発生した強いX線放射 子星になった際に起きた

地球からかに座の方向に約1
27億光年も離れた所にある超
巨大ブラックホールに、周辺の
物質が飲み込まれて周囲が光っ
ている様子を、宇宙航空研究開
発機構(JAXA
XA)の後藤
友嗣(ともりの)研究員が
すばる望遠鏡
(米ハワイ
島)を使って
観測した。国立天文台が30日発
表した。これまでに観測された
超巨大ブラックホールでは、世
界で1番目に遠く、日本人研究
者の発見では最も遠いという。
この超巨大ブラックホールの
質量は、太陽の約20億倍とみら
れる。宇宙が約137億年前と
推定されるビッグバンで誕生し
てからわずか10億年で、これほ
ど大きいブラックホールが存在
したことから、周辺の宇宙空間
では水素などの原子核と電子が
電離していたことが分かった。
宇宙は、誕生時には電離状態
だったが、急速に膨張して冷
え、約30万年
後に原子核と
電子が結合し
た。しかしそ
の後、超巨大
ブラックホー
ルなどが放射する紫外線の影響
で再び電離状態になったと考え
られており、観測成果は、この
再電離の時期を探る上でも役立
つという。

かに座の方向127億光年先に超巨大ブラックホール

JAXA観測が

この超巨大ブラックホールの
質量は、太陽の約20億倍とみ
られる。宇宙が約137億年前と
推定されるビッグバンで誕生し
てからわずか10億年で、これほ
ど大きいブラックホールが存在
したことから、周辺の宇宙空間
では水素などの原子核と電子が
電離していたことが分かった。
宇宙は、誕生時には電離状態
だったが、急速に膨張して冷
え、約30万年
後に原子核と
電子が結合し
た。しかしそ
の後、超巨大
ブラックホー
ルなどが放射する紫外線の影響
で再び電離状態になったと考え
られており、観測成果は、この
再電離の時期を探る上でも役立
つという。

研究 山中 一八 ネイ 40 の 迎 した エ 放 呼 線 X 線 フ 発生 った 今 源の 本教

トップ 主要ニュース 国内 海外 経済 エンターテインメント スポーツ コンピュータ 地域 写真 動画

政治 社会 人

社会ニュース - 8月30日(水)11時1分

検索

ニュース記事

条件検索

[PR] ミニスカートでクール・ビズ?こちらもお得なドミノ・ピザ20%OFF



- <1050円 送料無料>
- たっぷり2週間スキンケア
- ポーチ&今だけ!全プレ付

初期の超巨大ブラックホール＝127億光年先で発見-すばる望遠鏡

地球からかに座の方向に約127億光年も離れた所にある超巨大ブラックホールに、周辺の物質が飲み込まれて周囲が光っている様子を、宇宙航空研究開発機構の後藤友嗣研究員がすばる望遠鏡（米ハワイ島）を使って観測した。国立天文台が30日発表した。これまでに観測された超巨大ブラックホールでは、世界で11番目に遠く、日本人研究者の発見では最も遠いという。

この超巨大ブラックホールの質量は、太陽の約20億倍とみられる。宇宙が約137億年前と推定されるビッグバンで誕生してからわずか10億年で、これほど大きいブラックホールが存在したことは、ブラックホールの形成過程を解明する手掛かりになる。

また、この超巨大ブラックホールの周囲から放たれる光のうち、特定の波長の残光が観測されたことから、周辺の宇宙空間では水素などの原子核と電子が電離していたことが分かった。

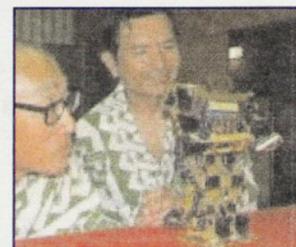
(時事通信) - 8月30日11時1分更新

トピックス

刑務官 山口組トップにも便宜校長の9割「学力格差広がる」
漁船乗組員2人、30日に解放へ
携帯「良番」の売買 億単位も
首相 後継指名の見送りを示唆
「失われた10年」徹底検証へ
スキミング謎の首謀者「ゲン」

一覧

写真ニュース



(拡大写真)

雑記帳 ロボット落語(毎日新聞)

一覧

News Watch fresh EYE

最新ニュースをメールで受信

- 自民党総裁選
- イラン核開発
- オシムジャパン

検索で読むニュース